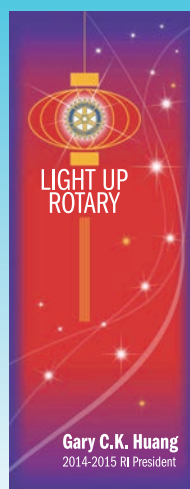


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570

No.4 Oct. 2014 Governor.Motohiko Sakamoto



みずほ台中央公園（富士見市）

【写真提供：富士見市】

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
米山記念奨学月間にちなんで	2
ガバナー公式訪問	3
クラブ研修リーダーセミナー開催	9
奉仕3部門合同セミナーを開催して	10

表彰者	11
新入会員	12
コーディネーターニュース	13
国際大会のお知らせ	14
10・11月のスケジュール	15



国際ロータリー第2570地区
2014～2015年度ガバナー
坂本 元彦
富士見ロータリークラブ

地区事務所

〒355-0028
埼玉県東松山市箭弓町2-5-14（紫雲閣3F）
TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571
E-mail: d-office@mail.rid2570.gr.jp

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2570地区
ガバナー 坂本 元彦

職業奉仕について考える

10月は職業奉仕と米山の月間です

10月は職業奉仕と米山の月間ですが、今回は職業奉仕を考えてみます。

職業奉仕は他人からは見えにくく、利己的な自分自身では中々把握しにくく、所謂アイサーブの領域の問題であるので、その成果を実感するのは難しい事だと思います。また職業奉仕という考えはロータリー独自のものです。

職業奉仕と混同しやすいのが社会奉仕です。

相手（顧客等）の立場を思い仕事をする事は、これらの人達の役に立つわけですからこれは立派な職業奉仕です。但し、自分の仕事を通じて奉仕する事が全ての場合職業奉仕であると思いがちですが、そうではありません。

例えば、弁護士がどこかの場所で無料法律相談をしたり、医師が無料診療をしたりする事は、職業奉仕ではなくて社会奉仕であると言われています。間違えやすい所です。

基本的には、受益者が誰であるかで何の奉仕活動かが決まります。

青少年なら青少年奉仕、活動が国際的な事なら国際奉仕、社会ならば社会奉仕です。

職業人として最も誇らしい事は、自分の職業が感謝され、信用や信頼を得る事です。このためにも職業奉仕を実践するには、自分の職業の高潔性を保ち、品位を高め、そして「超我の奉仕」に代表されるロータリー（奉仕）の心を会得する事が必要だと思います。

この具体的な一つの指標が、四つのテストではないでしょうか。

四つのテスト等の内容を良く理解して仕事をする事により、倫理観が高まり、かつ「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の職業奉仕の理念を実感する事が出来たなら、これが職業奉仕の一つの完結であると思います。

「参考：ロータリーの心と原点 廣畑 富雄：その他」

米山記念奨学月間にちなんで

米山記念奨学部門委員長
忽滑谷 明 (入 間)



米山記念奨学事業は、国際ロータリーに認められた60年以上も続く多地区合同活動であり、創設当初の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。

特に、世話クラブ及びカウンセラー制度は、ロータリアンとの交流により、金銭的な支援だけではとても得る事の出来ない独特の制度です。奨学生には毎月1回世話クラブの例会に参加することが義務づけられており、奨学金もそこで手渡されます。また、例会では母国のことや自分の研究について卓話をしたり、クラブや地区の社会奉仕活動・行事・研修旅行に参加するなど、ロータリーの活動を通じて、日本の文化や地域社会と触れ合う様々な機会が提供されます。

日本で学んだロータリー米山記念奨学生達は、異口同音に「私たちほど他の留学生に比べて日本の国を知る者はいない。我々が日本で学んだことを母国の人達にしっかりと伝えることがロータリアンへの恩返しです。」とっております。

本年度も引き続き会員の皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。

「ロータリー公共イメージの推進」について

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC) のお知らせ

表記についてコーディネーターニュースを掲載します。

尚、当地区パストガバナー鈴木秀憲氏が、第1ゾーンのロータリー公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC) に任命されております。

クラブの外部(地域社会)に向けた広報活動「公共イメージの向上の為の活動」に資する情報提供(卓話等)について、御相談下さい。

***ARPIC: Assistant Rotary Public Image Coordinator**

2014-2015年度

ガバナー公式訪問 報告

行田ロータリークラブ

2014年7月31日

会長:島崎 政敏 / 幹事:碓井 勝也

国際ロータリー第2570地区ガバナー坂本元彦様が第5グループ・行田ロータリークラブにおいでになった。

新入会員懇談会、例会卓話、クラブ協議会出席と精力的にすべての日程をこなされた。

まず懇談会では、行田クラブ5名の3年未満の会員と懇談、ロータリーの楽しさや、理念につき丁寧に説明されていた。

また例会では、本日入会式を迎えた新入会員にバッジを着用していただき、卓話の中で“ロータリーの会員を増やすのではなく、ロータリアンを増やそう”との増強のお話があった。

またRLI方式による協議中、ガバナーのご意見で“ロータリー年度。やりたい事をやるのではない、やるべき事をやりなさい”が印象に残っている。



朝霞ロータリークラブ

2014年8月5日

会長:橋本 啓一 / 幹事:松尾 哲

8月5日の朝霞クラブ公式訪問は、午前中1時間入会5年未満の会員との対話及び懇談が行われ、席上国際ロータリーの目指す方向性またガバナーとしての考え方を示された。例会でのガバナー卓話の後のクラブ協議会は、すでに3回にわたる炉辺会合、2回のクラブ協議会で十分な議論がされている為、重要項目についての再確認とした。

終了後のティーパーティでは忌憚ない意見の交換を行い、会員全員でアーチを作りお見送りした。



飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

2014年8月6日
会長: 山川 荘太郎 / 幹事: 高橋 弘
会長: 清水 佳代子 / 幹事: 清水 敬一郎

8月6日、飯能日高合同公式訪問例会がありました。

10名の三年未満の入会の方もガバナーの気さくなお人柄に触れ、和やかな雰囲気の中で懇談会が出来ました。

卓話の中では、RIのテーマ、ガバナーの方針が述べられました。

皆さんが力を出し合って何事にもあたれば、地区も輝き、クラブも輝く。そして、あなたも輝く。それが「ロータリーに輝きを」です。

昔は入りたくてもなかなかロータリーに入れなかった時代もあります。

ロータリアンの自信とプライドを持ちましょう。＜飯能＞

8月6日、坂本元彦ガバナーと沼崎正徳ガバナー補佐を迎え、公式訪問例会が開催されました。昨年に引き続き、親クラブである飯能ロータリークラブとの合同開催です。合同例会では参加人数が多く、華やかである事。両クラブの新入会員同士が知り合う機会になる事。互いの懇親が深まる事等がメリットでしょうか。和やかな雰囲気にも緊張感が漂い、端正ですばらしい例会でした。＜日高＞

飯能RC



日高RC



坂戸ロータリークラブ

2014年8月7日

会長:清水 澄弘 / 幹事:清水 要

8月7日(木)坂戸グランドホテルにて、ガバナー公式訪問が行われました。

坂本元彦ガバナー、松本光司ガバナー補佐を会場にお迎えし、入会3年未満の会員5名との懇談会、ガバナー公式訪問例会、続いてクラブ協議会が行われました。

ガバナーからは一人ひとりがロータリーの良いところを見直して、ロータリーの実体をよく理解してもらい、質の良いロータリアンを育てましょう。それが会員増強、ロータリーの公共イメージアップにつながります。とのメッセージを戴きました。



熊谷ロータリークラブ

2014年8月8日

会長:佐藤 晴一 / 幹事:大谷 公一

8月8日(金)、熊谷RCでは坂本元彦ガバナーをお迎えして公式訪問例会を開催しました。

11時30分から会長、副会長、幹事、3年未満会員8名との懇談会。12時30分より例会、その後、クラブ協議会が実施されました。クラブ協議会ではRLIプログラムにより①会員増強について②ロータリーの公共イメージと認知度の向上についてをテーマとして、活発な意見交換が交わされました。



吹上ロータリークラブ

2014年8月8日

会長:鳥羽千太郎 / 幹事:山崎 研

8月12日、坂本元彦ガバナーの公式訪問が行われ、井桁ガバナー補佐、富士見RC会員の横田・平岡会員が同行されました。坂本ガバナーと吹上RC鳥羽会長と山崎幹事との懇談が行われ、その後食事、例会が行われました。クラブ協議会はRLI方式で行われ、DLは井桁ガバナー補佐にお願いしました。会員増強について活発な発言が続き、会員数9名のクラブとしては大変有意義な内容となりました。



新狭山ロータリークラブ

2014年8月18日

会長:伊藤 宣明 / 幹事:田口 勇男

公式訪問に先立って行われた入会3年未満会員との懇談では、坂本ガバナーから温かくも含蓄のある言葉を掛けていただきました。

例会は、以前卓話においていただいたこともあって、終始和やかな雰囲気で行われ、卓話ではゲイリーRI会長の言葉を分かりやすく解説されるとともに増強に対するアプローチや行動について貴重なお話をいただきました。

またRLI方式で行った討論会では活発に意見が出され、有意義な時間を共有できました。



深谷ロータリークラブ

2014年8月19日

会長: 狭山 慶子 / 幹事: 持田敬太郎

深谷ロータリークラブの例会は、去る8月19日(火) 埼玉グランドホテルにおいて開催、当クラブが属する第4グループは坂本ガバナーのルーツが児玉に有ることに親近感を覚えた。

- ゲイリーC.K.ホアン会長のお言葉『ポリオ撲滅、会員増強』にはPRが大切であると強調。
- 初めてのRLI方式によるクラブ協議会は活発な意見が多く出された。
- 坂本ガバナーに講評を頂き終了となった。



志木ロータリークラブ

2014年8月20日

会長: 星野 博之 / 幹事: 内山 純夫

ガバナー公式訪問で西川パストガバナーは、昼食時も会場監督として着席することなく会員の机の間を回り続けました。坂本ガバナーへの期待の大きさを当クラブの代表としてアピールされました。

星野年度のテーマ「ロータリーを学び、そして楽しもう」をスタートするにあたり、RLI方式の議論を用い、公共イメージの向上と会員増強の2点を星野会長から課題提起があり、活発な議論となったことは、坂本ガバナーから多少なりとも評価戴けたと思います。



新座ロータリークラブ

2014年8月21日

会長:神谷 浩一 / 幹事:石原 勇介

去る8月21日新座市にある「結婚式場ベルセゾン芙蓉の間」にて坂本元彦ガバナー公式訪問を開催いたしました。前段に会長・幹事及び3年未満の会員3名を交えたガバナー懇談会を開催した後、会長 神谷浩一よりガバナー公式訪問開会の点鐘がなされました。

当クラブの毎年恒例行事として『美しい街づくり委員会』に賛助金贈呈と『新座BS・GS中央育成会』に育成金贈呈を行いました。そして、ガバナー講話としてR.I第2570地区ガバナー坂本元彦様よりR.Iの現状報告や地区における問題定義等々のお話を頂戴いたしました。

第二部として、クラブ協議会をTD方式にて行い、五大奉仕部門の各委員長が座長を務め、クラブ奉仕委員会は「会員増強について及び公共イメージについて」、職業・社会奉仕委員会は「職業奉仕活動に可能性について」、社会奉仕委員会は「社会奉仕活動の展望について」、国際奉仕委員会は「寄付金の有効活用についての提言」、青少年委員会は「青少年育成の展望について」、それぞれ活発な意見交換と問題点の再認識及び具体的な解決への道筋を共有でき

たかと思います。そして、各テーブルより発表を行った後、ガバナー所感及び総評を坂本ガバナーより頂き、クラブ協議会終了してガバナーと懇談会の中で質疑応答を行い、成功裏に公式訪問を終えました。

最後に坂本ガバナーと大澤衛ガバナー補佐に感謝の意を申し上げ報告と致します。



本庄南ロータリークラブ

2014年8月25日

会長:堀口 孝利 / 幹事:大森 伸治

8月25日、坂本ガバナーをお迎えして公式訪問が行われました。

5年未満の会員を交えての懇談会、例会そしてガバナーからの卓話を頂いた後、RLI方式で1・会員増強について、2・公共イメージアップについて、3・例会の充実についてDLの指導のもと活発な意見交換を実施しました。

最後に坂本ガバナーから講評を頂き有意義な公式訪問となりました。



クラブ研修リーダーセミナー開催

2014年8月23日

於：国立女性教育会館

地区研修委員会副委員長 栗山 昇

8月23日(土)国立女性教育会館101研修室において、午後1時よりクラブ研修リーダーセミナーが開催されました。

研修対象者は、クラブ研修リーダー(R情報委員長含む)52名でありましたが、当日の出席者は2名のオブザーバーを含め38名の出席でした。尚、地区役員出席者は下記のとおりです。

研修テーマは、その1として、「クラブ研修リーダーの責務と役割・規定審議会とは」のテーマを加藤玄静パストガバナーが担当、その2として、「2016年規定審議会立法案提出・起草方法について」のテーマを栗山昇規定審議会对応委員会委員が担当、その3として、「RLIの背景・目的と意義・歴史・研修方法と特色・研修カリキュラム・運営」のテーマを細井保雄RLI委員会委員長・浅田進アドバイザーが夫々担当する3部構成で行われ、出席者誰一人途中で席を立つ人も無く熱心に聞き入っており、4時30分閉会点鐘で終了しました。

ここで、研修内容について若干触れておきます。研修テーマその1については、加藤玄静パストガバナー作成による10ページの資料に基づき、人生論「老いの生き方」から講義に入り、「今、ロータリーは・クラブを成功に導くリーダーシップのために・クラブ研修委員会の役割・〈面白くて為になる〉ロータリーを目指して」そして「規定審議会とは」の講義では、2013年規定審議会地区代表議員として出席した体験を踏まえて、審議会での審議内容、採決方法等現実的な講義に出席者全員が聞き入っておりました。

研修テーマその2については、規定審議会に提案する立法案についてのクラブ提出方法、起草方法について、2007年規定審議会に提出した資料に基づき説明し、各クラブで2016年規定審議会にクラブ提案を地区宛に11月1日までに提出するようクラブで検討して頂く事をお願いしました。

研修テーマその3については、細井保雄RLI委員長よりご自分のDL資格を取得した経験を踏まえRLIの本格的な取り組みの夜明けと位置づけ、本年度の研修日程についての詳細な説明がなされました。最後に、浅田進アドバイザーよりご自分の地区内のロータリアンとしていち早く取り組んだ先駆者としての体験を基に当地区に対する叱咤激励の講義をなされました。ここで、出席されました地区委員の皆様をご紹介します。

坂本元彦ガバナー・高柳育行ガバナーエレクト・加藤玄静パストガバナー・松本光司、大澤衛、沼崎正徳、矢島淳一、井桁憲治各ガバナー補佐・梅澤茂、室伏秀樹、澤田将信各RI規定審議会对応委員会・栗山昇、高橋実、田中八束、滝澤常昭各研修委員・細井保雄RLI委員長、浅田進RLIアドバイザー、茂木正、古屋一生、大野栄治、野口健吉各RLI委員・深谷雅良地区幹事・奥田功次・隈川貴久男副幹事 以上多数のご出席に感謝申し上げます。



奉仕3部門合同セミナーを開催して

2014年8月30日

社会奉仕部門委員長 新井 啓介

去る8月30日(土)、奉仕3部門合同セミナーが開催されました。

奉仕3部門とは、職業奉仕部門、社会奉仕部門、国際奉仕部門です。奉仕団体としてのロータリークラブは、各ロータリアンの職業を通しての奉仕から、地域社会の奉仕、さらに国際奉仕へと、各部門の共通の奉仕の理念を通じて、勉強していただきたいというねらいがありましたが、同時に、多忙な各クラブ会長のセミナー出席への負担を軽減させていただくねらいもありました。

午後1時点鐘、開会セレモニー後、3部門委員長の卓話、2時30分より3部門に分かれての分科会。

分科会では、それぞれの部門委員長、委員長を中心に進め、担当諮問委員に講評を頂きました。

分科会終了後は、再び全員で集まり、坂本ガバナーに総評をいただき、閉会の点鐘となりました。

従来は、3部門それぞれにセミナーを開催しておりましたが、今年度は3部門委員長の決断で合同開催を決めたものの、準備段階での調整、役割分担など主催者側は少し大変でした。

参加者の意見も参考に次年度へ繋げられればと思いました。



財団表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
山川 荘太郎
(飯能)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
高橋 弘
(飯能)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
中里 昌平
(飯能)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
和泉由紀夫
(飯能)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
島崎 政敏
(行田)



ポール・ハリス・フェロー
碓井 勝也
(行田)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
小川 雅以
(行田)

米山表彰



米山功労者(9回)
橋本 正彦
(朝霞)



米山功労者(6回)
細田 優
(朝霞)



米山功労者(3回)
土屋 良一
(飯能)



米山功労者(1回)
堀江 大
(所沢西)

●●新入会員のご紹介●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●● ●●



氏 名 山本 正幸
ク ラ ブ 名 行田
入会年月日 2014.7.3
勤 務 先 山本食品工業(株)
紹 介 者 島崎 政敏



氏 名 松岡 保
ク ラ ブ 名 行田
入会年月日 2014.7.3
勤 務 先 (株)マルサンエコー
紹 介 者 島崎 政敏



氏 名 新井 誠
ク ラ ブ 名 行田
入会年月日 2014.7.31
勤 務 先 (株)シンセイ開発
紹 介 者 島崎 政敏

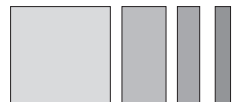


氏 名 本庄 由紀夫
ク ラ ブ 名 熊谷西
入会年月日 2014.7.7
勤 務 先 明治安田生命保険
相互会社
紹 介 者 古谷 一生



氏 名 園部 明彦
ク ラ ブ 名 狭山中央
入会年月日 2014.9.2
勤 務 先 株式会社中央医研
紹 介 者 田中 隆行

2016～2017年度 ガバナー候補者の推薦について



国際ロータリー第2570地区のクラブに於いて、2016～2017年度の
地区ガバナーとして相応しい方の推薦をお願い致します。
ご通知申し上げます。

『ロータリー公共イメージの推進』

2014年9月2日・3日の2日間に渡り、GETS（ガバナーエレクト研修セミナー）が東京で開催されました。1月の国際協議会に備えての事前研修第1弾ということで、ガバナーエレクトの方々は34名、大変有意義で楽しい（？）丸2日間を過ごされた訳であります。その中の2つのセッションで、「公共イメージの向上、推進」が取り上げられています。その内容をかいつまんでご紹介したいと思います。

「ロータリーは意義ある活動を行っているにも関わらず、それが社会に認識されていない!!」という事実から、ロータリーの公共イメージを改善する為に「ロータリー活性化」の取組が始まっています。それは、「リーダーのネットワークへ。アイデアを広げよう。行動しよう。」というロータリーの特徴を簡潔に表現したロータリーのエッセンス。これを土台に、ロータリーを分かりやすく、しかも魅力的にアピールしようとする取り組みであります。

1つ目の大きな柱は、ブランド戦略であります。まずロータリーのロゴが変更されています。2014年1月の国際協議会後に新しく登場したブランドリソースセンターには、ロゴに加えビジュアルアイデンティティのガイドライン、写真・動画等様々な資料や素材が用意されていますので、それを活用し、ブランド戦略を推進頂きたいということです。

2つ目は、「ボイス」の活用であります。それは、ロータリーのボイスの特性である4つの事柄（賢明さ、思いやり、粘り強さ、行動を促す力）を意識して、対外的にはロータリー用語を避けて、出来るだけ簡潔な分かり易い言葉で、語りかけるように、相手に魅力的に聞こえる表現にすることです。

上記の「ロータリー活性化の取り組み」を推進するため、ロータリー「戦略的優先項目と目標」があり、その実行部隊としてゾーン毎に地域コーディネーターチームが任命されています。

- ・クラブのサポートを強化⇒ロータリーコーディネーター（RC）
- ・人道的奉仕の重点化を増加⇒ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）
- ・公共イメージと認知度の向上⇒ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）

「ロータリーの公共イメージ」を向上させるため、RPICの役割は大きく2つに分けられます。

一つは、各ゾーン毎に地区、クラブ、ロータリアンに対して適宜・適切な情報を伝達することです。「PETS」「地区研修協議会」等がありますので、要請があればそれぞれの場に赴き、「公共イメージの向上」に向けた情報提供を積極的に行わせて頂きます。

もう一つは、地区又はクラブの外部（地域社会）に向けた広報活動を効率的、効果的に行う為に必要な情報、方法論を提供することだと認識しております。

地域コーディネーターチームのうち、RPICを下記にご紹介させていただきます。

- *第1ゾーン 2007-08 RID2560 PDG 渡辺敏彦（新潟南）
- *第2ゾーン 2012-13 RID2620 PDG 高野孫左工門（甲府）
- *第3ゾーン 2011-12 RID2740 PDG 岩永信昭（長崎北東）



国際大会のご案内



国際ロータリー第2570地区

ガバナー 坂本 元彦

国際大会推進委員長 鈴木 秀憲

時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

本年度の国際大会が下記のとおり開催されます。

日本からは大変遠方ですが、この機会にご参加されますようご案内申し上げます。

記

国際大会期間：2015年6月6日～9日（他に大会前行事もあります。）

国際大会会場：ブラジル サンパウロ パルケ・アニエンビ(Anhembi Park)

（サンパウロ市北部のサンタナにあるアニエンビ展示場）

Parque Anhembi, Sao Paulo

1209-Santana, Sao Paulo, 02012-021 Brazil

○国際大会へご参加の方は、折角 日本と地球の反対側南米の地まで行かれるのですから、下記日程の地区ナイトへご参加されますようご案内申し上げます。

……— 国際大会参加者へ第2570地区ナイト（食事を摂りながらの交流会）へのお誘い —……

日時：2015年6月6日（大会初日）夕刻

会場：追ってご連絡申し上げます。

目的：国際大会の地での地区内会員同士の交流を深めたいと考えます。

個人でご参加、ツアーでのご参加を問わず、地区ナイトへ奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

○国際大会への参加申込みについて

Rotary Convention.orgへインターネットで直接申し込む方法もありますが、連絡ミス等を防ぐ為、国際大会申込書へご記入の上、2～4頁を国際ロータリー日本事務局へFAX(03-5439-0405)送信する方法をお勧めします。（申込書はR I ホームページから入手できます。）

送金は、カード払いでは確認ミスが出る事がありますので、ご自分で（クラブが人头分担金を振り込んでいます）RI口座へ振込され、その写しを大会申込書FAXと共にRI日本事務局へ送信する方法をお勧めします。

※地区では参加者の把握をしたいと考えています。個人、ツアー参加ともにクラブの参加者を地区事務所へお知らせ下さい。

※ご不明の点は、基本的にはR I ホームページを検索してください。R I 日本事務局に問い合わせても現在のところ、このホームページ以上の事は分からないとのことです。R I ホームページに入る方法は地区事務所藤田宛に問い合わせてください。

RID2570『サンパウロ国際大会の旅』のご案内

ロータリー国際大会



RI2570地区 10・11月の地区スケジュール 2014～2015年度

2014年10月		2014年11月	
日	曜	日	曜
1	水	1	土
2	木	2	日
3	金	3	月
4	土	4	火
5	日	5	水
6	月	6	木
7	火	7	金
8	水	8	土
9	木	9	日
10	金	10	月
11	土	11	火
12	日	12	水
13	月	13	木
14	火	14	金
15	水	15	土
16	木	16	日
17	金	17	月
18	土	18	火
19	日	19	水
20	月	20	木
21	火	21	金
22	水	22	土
23	木	23	日
24	金	24	月
25	土	25	火
26	日	26	水
27	月	27	木
28	火	28	金
29	水	29	土
30	木	30	日
31	金		

【表紙の写真】みずほ台中央公園。昭和 54 年 6 月 1 日設置、東みずほ台地区を代表する大きな公園です。春は桜、秋には銀杏が彩りを添え、季節感豊かな緑の公園です。また、中央の広場では近隣町会合同の夏祭りが開催され、コミュニティ形成・防災の拠点としてのオープンスペースを確保しています。夏季には、子どもたち用の水遊び場も人気です。【富士見市HPより】

ポリオ根絶とトイレブレイク

地域医療機能推進機構(JCHO)理事長 尾身 茂



我々団塊の世代が小学生の頃、小児麻痺に罹り足の不自由な子供がたくさんいた。1990年WHOに赴任した私の仕事は、西太平洋地域の小児麻痺根絶。途方もない課題であった。そもそも根絶に必要なポリオワクチンの資金が絶対的に不足している。このため91年援助機関等からの資金を期待して、国際会議を東京で開催した。

初日、根絶戦略を説明すると手応え十分。だが資金要請の段になると空気は一変。総論賛成各論反対の図式だ。参加者たちは発展途上国での根絶など土台無理と思っていたようだ。その後、私は《営業マン》さながら資金集めに奔走するが全て空振り。

翌年、一条の光が差し込んだ。北京での会議前日、国際ロータリークラブのアメリカ人からある提案がされた。「ドクターオミ、WHOが中国のワクチン接種を4歳以下に引き下げれば、一億円を提供しよう。」WHOの方針は5歳以下が対象。だが中国に限ると、感染者のほとんどが4歳以下だった。

願ってもない申し出だ。ところがWHO本部の責任者に話すと「方針変更はダブルスタンダードになる」と反対。私としては資金獲得のチャンスを逃すわけにはいかない。「原則に固執するのか？ワクチンがなければポリオ根絶は不可能だ」と迫る。3時間の応酬の末、「立場上賛成できない。君が責任を持つなら別だが」と本部責任者。

翌日会議が始まり《年齢》問題が議論されるも双方譲らず。コーヒブレイクになり私は彼に囁く。「会議が始まったらトイレに立つふりをしてくれないか、その間に決めたい。」彼はニッコリ頷く。予定通り退席。こうして《4歳》が決定された。長いトイレブレイクであった。

日本経済新聞9月18日(木)夕刊掲載